

日本原子力学会 第 154 回倫理委員会  
議事録

1. 日 時：2026 年 3 月 3 日（火）14:30～17:05
2. 場 所：東京電力 HD 本社会議室+Zoom（ハイブリッド） ※：Zoom 参加
3. 出席者：大場委員長\*、沖田副委員長、神谷幹事、浅原委員\*、伊藤委員\*、大久保委員、  
佐藤委員\*、芝原委員、菅原委員\*、中村委員\*、福家委員、藤田委員\*、溝上委員、  
吉永委員\*（委員 17 名中 14 名出席）、小崎特別委員\*、瓜谷特別委員\*  
オブザーバー 山口氏\*
4. 資 料：
  - 倫 154-1-1 前回議事録（案）
  - 倫 154-1-2 倫理委員会委員の承認について
  - 倫 154-2-1 倫理委員会活動計画
  - 倫 154-2-2 倫理委員会役割分担表
  - 倫 154-3 第 23 回倫理研究会 実施結果概要
  - 倫 154-4 2026 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について
  - 倫 154-5 2026 年秋の大会企画セッションに係る企画・準備について
  - 倫 154-6 欠番
  - 倫 154-7 中部電力基準地震動策定に係る不正行為事案に関する倫理委員会の検討について
  - 倫 154-8-1 ダイバーシティ&インクルージョン推進のための目標シート（2025 年度）
  - 倫 154-8-2 『ATOMO Σ(アトモス)/日本原子力学会誌』特集記事ご寄稿のお願い

5. 議事概要：

(1) 前回議事録、委員候補の承認について

神谷幹事から資料 154-1-1 に基づき説明があり、特にコメントはなく、了承された。

引き続き、大場委員長から資料 154-1-2 に基づき、委員候補の山口文恵氏（原子力機構）の紹介があり、また、山口氏から立候補届出書に基づく説明があった。これらに基づき、山口氏を委員候補とすることを委員会として承認し、次回理事会で承認を得るべく、神谷幹事が学会事務局に必要な資料を提出していくこととした。

(2) 活動計画および役割分担について

沖田副委員長から資料 154-2-1 および 154-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおりで、必要な調整を進めることとした。

- ・ミニ講演会に関して、次回は村田委員にお願いすることで調整を進める。
- ・活動計画に、中部電力基準地震動に係る不正行為事案に係る項目を追加する。
- ・役割分担表は、次回からは 2028 年分についても追加する。
- ・次回倫理研究会の担当が、主：佐藤委員、副：中野委員となっているが、本年 2 月 26 日実施済の研究会の副担当が中野委員であったので、考え方としては次は主：中野委員となるのでは

との提起があり、調整を進めることとした。

- ・技術倫理協議会において、2025年5月の原子力学会の倫理規程改定について紹介する計画（同年6月の標準委員会での説明資料を利用）であったが、時間の都合上、紹介できなかったため、2026年6月以降の同協議会において紹介するよう調整するとの報告があった。

(3) 2025年度倫理研究会について（主担当：芝原委員、副担当：中野委員）

芝原委員から、資料154-3に基づき、2月26日に実施した倫理研究会の結果概要について説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・品質保証研究会による品質コンプライアンス案件の未然防止に係る検討成果等に基づき議論を行ったが、品質不正に係る実質的、実務的な議論をできたのは大変有意義だった。
- ・倫理委員会としても参考になる議論ができたのではないかと思う。
- ・品質保証研究会側で参加された方の感想も聞かせていただけるとありがたい。
- ・品質保証研究会側のご意向もあるが、時間の都合で議論が途中で終わってしまったこともあり、今回の残り分、あるいは同じテーマで2回目の研究会を実施してもよいのではないか。
- ・これまで同様、結果概要と使った資料については委員会HPに掲載するので、結果概要の関係者のレビュー、品質保証研究会資料のHP掲載可能な範囲について確認をする。
- ・今回の研究会の資料も含めて、公開できない資料も含めてHPを活用してアーカイブ化ができないかとの意見があり、これまでに対応の紹介や、管理する者の負担等について議論があった。また、HPに掲載する資料の著作権上の確認がなされているのか等についての提起があり、委員会HPに掲載するものは、年会・大会と同様、講演者の責任であらかじめ必要な確認をお願いしているとの説明があった。

(4) 2026年春の年会企画セッションについて（主担当：大久保委員、副担当：藤田委員）

大久保委員から、資料154-4に基づき説明があった。主な議論は以下のとおりで、引き続き準備を進めていくこととした。

- ・日程は3月11日12:30～、場所はG会場（熊本城ホール3階会議室G）。
- ・総合討論の論点は、九電殿の現場実践における良好事例や意識面で根付かせるために取り組んでいること、安全文化評価のアンケートにおける数値の取扱いの二つでよいのではない。
- ・総合討論の論点は、スクリーンに映写できるようにした方がよい。
- ・総合討論は、論点について、それぞれ座長、九電殿、大場委員長の三者で議論を深め、二つの論点の議論の後、会場からの質疑も含めた議論に進むやり方にしてはどうか。
- ・会場アンケートについては、別途メールベースで内容を調整する。
- ・当日は、12:20頃に会場前に集合とする。
- ・委員会の企画セッション参加者について、1月末に実施した出欠確認をあらためて実施する。

(5) ミニ講演会

溝上委員から「倫理は1Fとともにある」と題してプレゼンいただき、講演内容に関わる自由討議を行った。

(6) 2026年秋の大会企画セッションについて（主担当：藤田委員、副担当：沖田副委員長）

藤田委員から資料 154-5 に基づき説明があり、今後、メールベースで意見を求める等の調整を行うとともに、次回委員会で議論することとした。なお、学会事務局への提案書の提出期限は、例年5月中旬頃である。

(7) 中部電力基準地震動策定に係る不正行為事案に関する検討について

神谷幹事から資料 154-7 に基づき、1月20日付で発出した委員会声明（第1弾）に至る経緯等と、本件についての委員会としての今後の検討について説明があった。

中部電力から今後公表される事実関係に基づき、委員会として第2弾の声明（見解）を発出していくことに異論はなく、また、検討に当たっては少人数のWGを設置して検討していくこととした。

今後、WGメンバーも含めて、委員長からのメールベースでの調整により進めていくこととした。声明の発出時期等については、WG中心に検討を進めていく。

(8) その他

- ・神谷幹事から資料 154-8-1 に基づき、ダイバーシティ推進委員会に提出した2025年度のダイバーシティ&インクルージョンに係る倫理委員会の取組みについて説明があった。
- ・神谷幹事から資料 154-8-2 に基づき、編集委員会からの「特集 福島原発事故15年目の総括」への寄稿依頼について説明があり、倫理委員会としては大場委員長が執筆することとした。
- ・大場委員長から、長岡技科大学での留学生を含む講義対応で、倫理規程（2025年改定版）の英訳版を大学として作成を進めており、長岡技科大のクレジットを付記すれば委員会HPに掲載することも可能であるとの大学側の確認状況について紹介があった。委員会HPに掲載すること等について、今後、メールベースで調整していくこととした。

6. 次回：4月中の開催とし、別途調整することとした。

以上